

看護倫理	4年・後期	1単位	教授 高橋ゆかり
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111083

1. 授業のねらい・概要

看護における倫理的な基礎知識および倫理的意思決定について学習する。また、看護実践で遭遇しやすい倫理的ジレンマについて、多様な価値観に気づき、複眼的な見方、倫理規程の活用などにより倫理的感受性を高め、倫理的課題の解決に向けた調整能力を養う。

2. 到達目標

1. 看護の職業的倫理を理解し、看護師の倫理的役割について考察できる。
2. 医療をめぐる倫理的課題に関心を持ち、多様な価値観から考察できる。
3. 看護実践における倫理的ジレンマとその対処方法について考察できる。

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に進める。

4. 授業計画（演習）

1. 看護倫理の理念・倫理的意思決定プロセス
2. 看護職者の倫理原則と倫理綱領
3. 看護ケアにおける倫理的課題
4. 道徳的感受性を磨く：演習
5. 看護ケアと倫理①：事例検討
6. 看護ケアと倫理②：事例検討
7. 看護ケアと倫理③：事例発表
8. まとめと試験

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度(20%)、定期試験(80%)を総合して評価する。再試験は実施しない。

6. テキスト・参考文献

参考文献：「看護者の倫理綱領」（日本看護協会）（<http://www.nurse.or.jp/rinri/basis/manga/pdf/03.pdf>）

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストの予習（30分程度）をしておくこと。
「看護者の倫理綱領」（日本看護協会）を熟読しておく。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。